

パンダハウス & 齋正機

パネル展

～ふくしまから「寄り添い」を～



「注射ノアト」

日時: 2022年10月1日(土) 9:30～17:00
2日(日) 9:30～15:30

場所: コラッセふくしま 1階アトリウム

福島市三河南町1番20号 JR福島駅西口より徒歩3分

入場無料

★展示内容

- ・パンダハウス紹介(活動内容、歴史、利用者の感想など。齋正機の挿絵や福島民報の過去の記事などとともに。)
- ・齋正機作品による福島の紹介(東邦銀行カレンダー・福島鉄道物語パネルなど) ※原画の展示はございません。

★パンダハウスとは



パンダハウス外観

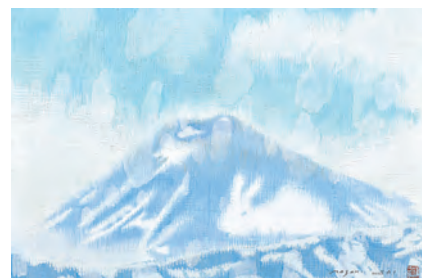
パンダハウスは1994年10月、病と闘う子どもと家族のためのサポートハウスとしてオープンしました。日本で初めて不特定の多くの皆様のご寄付でハウスを建て、福島県立医科大学附属病院で福島県内外から治療を受けるために来ている子どもと家族の滞在施設となっています。

子どもが難病で長期入院をせざるを得なかった経験を持つお母さんの想い、離ればなれになっているきょうだいや家族と共に過ごせる「病院近くのもう一つの我が家」があればとの想いが原点です。

5年前からは退院後に地域で暮らす子どもと家族に寄り添うため、病院での相談にも対応しています。

さいまさき

★齋正機略歴



「拝啓 雪ウサギ様」

1966年、福島県福島市生まれ。本名・齋藤正機(さいとうまさき)。福島東高校、東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻、同大学院修了。鉄道が走る風景を題材とした「鉄道シリーズ」、日常の一コマを題材とした「こどもシリーズ」など多数の作品を発表。

1998年、ふるさとの風景展(喜多方市美術館主催)で最優秀賞、以後、昭和会展(日動画廊主催)での最高賞など数々の絵画展で受賞。

2011年からは東邦銀行のカレンダーに作品が採用されている。

2019年、2022年に、とうほう・みんなの文化センターにおいて大規模な作品展を開催、好評を博す。

福島民報に作品とエッセイによる「福島鉄道物語」を連載中。

主 催: 日本緩和医療学会東北支部学術大会
共 催: NPO法人パンダハウスを育てる会・齋正機後援会
協 力: 東邦銀行・福島民報社
企画協力: サイスタジオ

